

## 見積仕様書

### 第1節 業務概要

本業務は、貯水池周辺の地すべりの形状と貯水位の位置の異なる地すべりブロックで安定計算を行い、これらの条件と安全率低下の関係を整理するものです。

### 第2節 業務内容

#### 2-1 安定計算

機構より貸与する地すべりブロックの断面図を用いて、以下の条件で安定計算を行います。なお、断面数は10程度を想定しています。

##### 1. 準拠基準

「貯水池周辺の地すべり等に係る調査と対策に関する技術指針・同解説（平成31年3月）国土交通省 水管理・国土保全局」に準拠するものとします。

##### 2. 安定計算のケース

貯水位をサーチャージ水位から制限水位に急低下させたときのブロックの安全率を求めるものとします。

サーチャージ水位および制限水位の具体については、別途指示します。

##### 3. 安定計算時の物性値

$\gamma$ （土の単位体積重量）：1.8kN/m<sup>3</sup>

c（粘着力）：地すべりブロックの厚さ

$\phi$ （内部摩擦角）：地すべり末端標高からサーチャージ水位まで貯水位を上昇させたときの安全率の中で、最小値が1.0となる貯水位条件のときの $\phi$ を逆算で設定します。

地下水位：「なし」とします。

残留間隙水圧率：30%とします。

—以上—